

平成 31 年 3 月 4 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-5224-4900)

アーリーワークス社並びに I Vホールディングス社との 災害時安否確認システムの企画並びに共同開発に関するお知らせ

当社グループは、アーリーワークス株式会社（以下、アーリーワークス社といいます。）並びに I Vホールディングス株式会社（以下、I VH社といいます。）と共同で、災害時安否確認システムを企画・開発のうえ、販売を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

現状、災害時安否確認は、家族や友人など身内の間では、主に、災害時伝言ダイヤルや、携帯電話会社の伝言板、LINE などのソーシャルメディアが活用されるとともに、企業によっては、社員の安否確認のため、独自のシステムを導入していることがありますが、これらの方法は、災害時にサーバーにアクセスが集中し、あるいは、サーバーそのものが災害により被害を受けた場合、通信に障害が生じ、安否の確認に莫大な時間と労力がかかります。

アーリーワークス社は、毎秒 4,000 万件のトランザクションを処理することのできる次世代のオリジナルブロックチェーンを開発しておりますが、この高性能ブロックチェーン技術で、サーバーのいらない災害時安否確認システムを開発することにより、通信障害を防ぎ、災害の際に、一時的に殺到する安否確認に対して、スピーディかつ確実に対応することが可能となります。

また、I VH社は、大手 FM 局グループと、デジタルラジオ波を活用した在宅介護用見守り介護システムを開発し、東証一部上場大手電機メーカー系システム会社の全面バックアップのもと、各自治体を通じ、システムの普及をはかっております。

災害の際には、I VH社の在宅介護用見守り介護システムを通じ、在宅の 1 人暮らしやお年寄りに関する、莫大な安否情報が集積されますが、アーリーワークス社のブロックチェーンの、毎秒 4,000 万回の処理能力を活用することにより、この莫大な情報を、スムーズに処理することができます。

平成 30 年 12 月 10 日付「株式会社アーリーワークスとの合弁会社設立に関する基本合意のお知らせ」でご報告させて頂きましたとおり、当社は、アーリーワークス社と合弁会社を設立し、同社が開発した高速ブロックチェーンプラットフォームを、日本国内を中心とした様々な企業や官公庁に販売してまいりますが、これに加え、アーリーワークス社並びに I VH社と共同で企画・開発する災害時安否確認システムを、スマートフォン向けのアプリとして提供するとともに、地方自治体や介護事業者、多くの従業員を抱える企業等に、システムとして販売する予定であります。

販売開始時期は未定であり、中長期的に、当社の業績に寄与するものと考えておりますが、現段階におきましては、当面の業績に与える影響は軽微であると考えており、業績に重要な影響を与える事象が生じましたら、改めてご報告させていただきます。

以 上